| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 講義名 | リスクマネジメント論 | | | | |
| 科目区分 | 学部フリーゾーン | | | | |
| 担当教員 | 持田　信治 | | | | |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 金曜日 ２時限 | | | 授業形態 | |
| | 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科／2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2018年度 人間社会学部 観光学科／ | | | | |
| 履修開始年次 | ３年生 | 単位数 | 2 | 備考 | |

## 主題と概要

本講義は企業活動に於けるリスクマネジメントの基本と手順の理解を深めることを主題とする。
企業経営には様々なのリスクが存在する、また業務遂行に於いて最も重要な事項にスケジュール管理とリスクマネジメントがある。そこで本講義ではリスクとは何かを解説した後、リスクの評価とリスクを回避する方法について解説を行う。本講義の主題はリスクマネジメントとは何を行うことかを理解することである。そしてリスクの分類、評価、対応について具体例を用いた説明を行う。

## 到達目標

以下を本講義の到達目標とする。
（1）企業経営に於けるリスクマネジメントの基本的な考え方を身につける。
（2）リスクマネジメントの内容とリスクマネジメントのポイントを説明できる。

## 提出課題

講義の終わりに当該講義に関する小テストを行うことがある。
また、講師内容に関するレポートの提出を要求することがある。

## 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題に対する評価や質問に対しては、必要に応じて講義内で説明を行う。

## 評価の基準

（1） 出席はＲＥＳＰＯＮ又は復習テストや課題の提出で判断する。
（2） 授業参加度５０点、復習テスト又は課題５０点で評価する。
また、課題やコメントについて自主学習が認められる場合には特に評価する。

## 履修にあたっての注意・助言他

（1）講義への積極的な参加を希望する。
（2）講義テーマについての自主学習を期待する。
（3）特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。

## 教科書

.使用しない。.

## プリント資料及び参考文献

必要に応じて、教材をポータルにＵＰする。
参考文献は適宜紹介する。

## 授業計画

第１回 リスクとは
第２回 リスクの概念
第３回 社会のなかのリスク
第４回 リスクと事故発生のメカニズム
第５回 リスクマネジメントの基本
第６回 プロジェクトとリスクマネジメント
第７回 ヒューマンエラーとリスクマネジメント
第８回 危機管理と内部統制
第９回 要因分析の方法の基本
第１０回 定性的リスク分析
第１１回 定量的リスク分析
第１２回 リスク管理表と対策の立案
第１３回 インシデント管理
第１４回 リスクと環境について
第１５回 リスクマネジメントのまとめ

## 授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|---|---|
| | ア：PBL（課題解決型学習） |
| | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| | ウ：ディスカッション、ディベート |
| | エ：グループワーク |
| | オ：プレゼンテーション |
| | カ：実習、フィールドワーク |

## 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

シラバスに従った予習と配布された講義内容に基づいた復習を期待する。当該講義及び前回の講義内容について、小テストを行うこともあるので、授業後に復習を行うこと。また小テストの内容は講義では説明をしていない関連項目に及ぶこともあるので講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。

## 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

## 実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
過去のプロジェクトマネージャとしての実務経験に基づき、企業活動に於けるリスクマネジメントのポイントを解説する

## 備考

問題意識を持って講義に参加すること。